

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 詳細環境調査  
 調査媒体: 水質(ng/L)  
 地方公共団体: 和歌山県  
 調査地点: 紀の川河口紀の川大橋(和歌山市)

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
[1] イソシアヌル酸	2,300	500	500
[3-1] クラリスロマイシン	※1.3	0.58	1.4
[3-2] 14-(R)-ヒドロキシクラリスロマイシン	1.4	0.34	0.62
[4] 2,6-ジ-tert-ブチル-4-メチルフェノール (別名: BHT)	※14	1.1	35
[6-1] N,N-ジメチルデシル-1-アミン=N-オキシド	nd	2.3	3.0
[6-2] N,N-ジメチルドデシル-1-アミン=N-オキシド	※6.9	3.9	7.6
[6-3] N,N-ジメチルテトラデシル-1-アミン=N-オキシド	nd	6.2	6.2
[6-4] N,N-ジメチルオクタデシル-1-アミン=N-オキシド	nd	2.8	2.8

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※: 参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない。)